

入学式の「学校長式辞」(後編)です。

前号(第2号)でお知らせしたとおり、4月7日(木)の「茨城県立並木中等教育学校 第9回入学式」における「学校長式辞」(全文)の後編をお届けします。

◆4月7日の入学式での「学校長式辞」—後編—◆ テーマ:「モネに学ぶ」

- **1つ目は**、時には**下書きなし**に思いっきり絵を描いてほしいということです。もちろん、計画を立てて慎重に物事に取り組むことも大切です。しかし、**直感**や**新しい発想**、豊かな創造力も大切にしてほしいと思います。本校には、**真っ白なキャンバス**が用意してあります。一緒に絵を描いてくれる素晴らしい先輩たちや、話し合える仲間もいます。適切なアドバイスをしてくれる優しい先生方もいます。どうぞ、**6年間**、伸び伸びと自分の才能を発揮してください。
- **2つ目は**、積極的に学び続けてほしいということです。世界的な画家であるモネは、一生かけて印象派の技法を追求し続けました。同じ作風で描いていても十分食べて行けたでしょうが、作風を変化させ、晩年には、現代の抽象絵画のような作品も残しています。皆さんは、今日、**学びのスタートライン**に立っています。これまでも、勉強は得意だったと思いますが、本当の学びは今日からです。先生に指示されたことだけでなく、自分から進んで学んでください。私は、そのような人を「**アクティブラーナー**」と呼んでいます。日本語では、「**能動的学習者**」です。能動的に、積極的に学ぶと、毎日が明るく楽しく充実します。本校は、そのような「アクティブラーナー」には、最高の学校だと思います。
- **3つ目は**、夢を描いてほしいということです。モネの夢は「**光を描くこと**」「**空気を描くこと**」でした。新入生の皆さんが、まず描く夢は、「**小さな夢**」でいいと思います。身近な夢を設けて、並木中等生として一步一步歩んでください。皆さんには**時間**があります。そして、6年後の卒業の時には、日本の未来や世界の未来を支えるような「**大きな夢**」を語れる若者に成長していて欲しいと思っています。自分を信じ、夢に向かって、情熱を傾けて努力してください。我々は、皆さんの夢の実現のために、全力を尽くします。一緒に、頑張りましょう。
- 結びに、保護者の皆様に申し上げます。私ども教職員は、本日から、新入生の皆さんの**未来**のために、**一生懸命**努力いたします。保護者の皆様におかれましては、本校の教育について、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
- 新入生の皆さんの毎日が、**夢**のある充実したものとなりますよう心からお祈りして、式辞といたします。

平成28年4月7日 茨城県立並木中等教育学校 校長 中島博司



- ◆この校長通信は、上記の式辞の内容から「並木ドリーム」と名付けました。皆さんに、並木中等教育学校で**夢**のある生活を送ってもらいたいという思いからです。これから、頻繁に配信しますので、時々**学校ホームページ**にアクセスしていただき、ご覧いただければ幸いです。